ヨコ型・シェア型・参加型の活動を通して

観光立国・農業立国・健康立国・そして世代間継承へ

認定 NPO 法人 日本再生プログラム推進フォーラム

第１６期団体概要・活動記録

２０１８年／平成３０年１０月１日～２０１９年／令和元年９月３０日

目次

1. ご挨拶　来年度に向けて 3

2. 認定 NPO 法人 日本再生プログラム推進フォーラム団体紹介 4

3. 活動方針 5

4. 活動報告 6

（１）総会　NSP 第１６期総会／いよいよ「日本刷新」のとき 6

（２）理事会 7

（３）NSP フォーラム２０１９／日本の新しいかたちを考える 7

（４）時局ならびに日本再生戦略講演会 8

（５）健康立国 次世代への継承／健康立国宣言 13

目標・健康イノベーション３本柱 13

健康立国対談 14

（６）ウェルネス・ラジオ／おしゃべりを紡ぐヨコ型・シェア型・参加型 15

（７）知って・行って・観て・会って（現地集合・解散型） 16

（８）公認たまり場 17

背景・目的 17

第 16 期公認たまり場 17

2018 公認たまり場アワード 18

第２号　多摩黒川農園たまり場 18

第３号　SVC（Soho Valley Commons）ソーホーバレーコモンズ 19

第４号　名古屋地域再生研究会 21

第５号　たまり場福岡 横の繋がり 23

第６号　中小企業の経営資源とハピネス研究会 25

第８号　鹽竈の光を観る旅 26

第９号　ソーシャルデザイン研究会 27

第 10 号　壮年就農 GATE 28

（９）ソーシャルメディア部 29

（１０）参考　人間性尊重経済人連盟 31

5. その他　NSP へようこそ！ヨコのつながりでの活動にご一緒してみませんか。 31

1. ご挨拶　来年度に向けて

みなさま、こんにちは。いつも当 NPO の活動にご理解、ご参加、ご援をいただき、大変ありがとうございます。 今年 10 月から第 17 期を迎えるにあたり、17 期の方針をご説明し、ご賛同、ご協力のお願いを申し上げたいと思います。

当 NPO はこれまでに日本再生戦略として観光立国、農業立国、そして健康立国を掲げ、さらに毎月の勉強会や公認たまり場制度等を設けてさまざまな教育、啓蒙、実践活動を行ってきたほか、人間性尊重経済人連盟を発足させ、日本経済の再生には経済活動の人間性尊重が何より大切であることを唱えてまいりました。

17 期はこうしたこれまでの活動に加えて、世代間継承を大きなテーマに掲げて、 少子高齢化と人口減少、そして若い世代の台頭を踏まえた日本再生の新たな世代間チームワークの構築に向けて活動を広げていきたいと考えております。

今からちょうど 100 年前が第一次大戦の終結と 20 世紀の新たな世界秩序の構築が本格化した年ですが、最近は世界の安全保障、政治、経済、金融、そして人々の生活において、本格的な 21 世紀型の、根本的な秩序の変化が日々かたちになろうとしています。そのなかでさまざまな戦略が考えられていますが、実は最も大切なことは、次の新しい秩序の主役は若い世代だということです。ですからここはいかに効果的に世代間継承を行って、いかに若い世代に十分な社会資源をバトンタッチするかが極めて重要になります。

おかげさまで最近の当 NPO の行事には若い世代や女性の参加が増えておりまして、世代間継承を啓蒙する場としてもふさわしい存在になりつつあります。

17 期、当 NPO ではさまざまな活動をスタートさせ、より広範囲の人たちの参加を仰ぎ、世の中全体に世代間継承の本格的な運動を広げていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、そのために今までよりも規模の大きな企画、イベント、勉強会などを各地で開催したいと考えており、財務面の拡充も必要になっていきます。

そこでいつものお願いで恐縮ではありますが、当 NPO の活動にご参加いただくと同時に、できましたら大口のご寄附をいただきたいと思っております。当 NPO は認 定法人ですので、いただいたご寄附は個人でも法人でも税の優遇措置を受けられます。 どうぞひとつご賛同、ご支援くださいますよう、伏してお願い申し上げます。

2019 年 9 月吉日
認定 NPO 法人 日本再生プログラム推進フォーラム
理事長 藤原直哉

2. 認定 NPO 法人 日本再生プログラム推進フォーラム団体紹介

2019 年／令和元年 9 月現在

名称　認定 NPO 法人 日本再生プログラム推進フォーラム
（認定特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム）
（通称：NSP）

事務所・事務局連絡先

主たる事務所　神奈川県小田原市栄町２丁目１３番１２号　ASUKA ビル２階

事務局連絡先　TEL 080-2133-7564
FAX 03-6866-8614（電子送受信のため、03 番号となっております）
E-mail staff@nipponsaisei.jp

発足・設立　2003 年／平成 15 年 10 月 16 日

登記・認定

2003 年／平成 15 年 10 月 16 日 内閣府認証 NPO 法人登記
2013 年／平成 25 年 11 月 13 日 東京都より認定 NPO 法人として認定
2018 年／平成 30 年 11 月 13 日 神奈川県より認定 NPO 法人として認定更新

2019 年／平成 31 年 1 月 8 日（火）付、神奈川県より認定更新通知書を交付していただきました。皆さまより NSP 活動にご賛同・ご支援をいただき、認定 NPO 法人としての有効期間の更新を受けることができました。関係者一同、心より感謝申し上げます。

役員構成

理事長	藤原直哉	経済アナリスト、（株）あえるば代表取締役会長
理事兼事務局長	三上靖彦	（株）ミカミ代表取締役
理事	阿部重利	ヒューマネコンサルティング（株）代表取締役
理事	佐藤茂則	（有）ミック研究所 所長
理事	山中茂樹	アクトイット（株）代表取締役
監事	鬼澤慎人	（株）ヤマオコーポレーション 代表取締役
相談役	高橋栄作	当 NPO 前事務局長

会員情報

会員総数　３０９名
　正会員／個人１６２名　法人１７名
賛助会員／個人１１６名　法人１４名

活動の基本構想

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム(通称 NSP)では、わが国の経済が「内需中心の持続的経済成長によって」活性化するためには、新しい思想と技術のもとに日本の都市計画を抜本的に作り直し、まったく新しい日本の都市と田舎を作り直すことが要だと考えています。そしてその過程で生まれる 21 世紀の新しい技術やノウハウ、製品が国際競争力の源となり、持続的な内需中心の経済成長の根源的エネルギーになると考えています。同時に日本各地固有の産業とライフスタイルを大いに振興させて、あらゆる地域の活力がみなぎらなければならないと考えます。 私たちは、日本の経済を活性化させるために、内需中心に十分に雇用があり、地方の繁栄、高齢化への対処、国際競争力の向上、温暖化問題への対処が同時に達成できるまったく新しい経済の枠組みを創造し、提言することを通じて、日本全体のあらゆる活力を高めるための活動を実践しています。

3. 活動方針

NSP の目指す日本経済の再生をひとことでいえば、「温故知新で生まれる 21 世紀の経済」です。それを実現する戦略をひとことでいえば、「戦略的低エネルギー社会の実現」 です。
NSP では、日本経済再生の具体的戦略として観光立国、農業立国、健康立国を提案し、実際にそれが政策となって今や日本全国に観光と農業、健康の新しい動きが広がっています。
それらを統合した本格的な提案として日本経済の再生を総合的かつ戦略的に行っていきます。

偉大なる共生社会の実現に向けて
ヨコ型・シェア型・参加型の活動を通して
観光立国・農業立国・健康立国の政策提言

具体的活動方針

（1）　健康で持続可能なライフスタイル(ロハス)を広く浸透させることで戦略的低エネルギー社会を日本で実現し、それを基盤にした 21 世紀の偉大なる共生社会を構築するためのさまざまな研究、実践、政策提言

（2）　そうした新しい日本を創るために必要となる戦略的なポイントを深く掘り下げて研究し、未来を創造するひな型を創る

（3）　健康で持続的なライフスタイルの構築を目指す人々や諸団体との連携

（4）　こうした成果を広く世の中に啓蒙するための勉強会、講演会、見学会、芸術活動の実施

（5）　インターネット放送を活用して健康と持続可能性の高い生活や仕事をしている人たちを多くインタビューして、相互の連携を強化し、新しい時代を担う人たちを浮かび上がらせる

活動内容

（1）　各たまり場及び当 NPO の主催による勉強会、研究、講演、見学会の実施

（2）　芸術家との連携による芸術活動

（3）　農園等を活用した健康で持続可能なライフスタイルの実践活動

（4）　時局に対応した政策提言活動

（5）　地方における勉強、啓蒙活動

4. 活動報告

（1）総会　NSP 第１６期総会／いよいよ「日本刷新」のとき

プログラム　第一部　NSP 第 16 期総会
第二部　基調講演　いよいよ「日本刷新」のとき（藤原直哉理事長）
第三部　2018 公認たまり場アワード発表・表彰
公認たまり場活動報告

第16期総会

https://bit.ly/2kEhzdv

当日会場準備・撮影・後片付けにご協力くださった皆さま、ありがとうございました！

（2）理事会

	開催日付	開催会場
第 1 回	2018 年／平成 30 年 10 月 20 日(土)	ワテラスコモンサロン
第 2 回	2018 年／平成 30 年 12 月 20 日(木)	八重洲倶楽部
第 3 回	2019 年／平成 31 年 2 月 20 日(水)	八重洲倶楽部
第 4 回	2019 年／平成 31 年 3 月 20 日(水)	八重洲倶楽部
第 5 回	2019 年／令和元年 5 月 15 日(月)	八重洲倶楽部
第 6 回	2019 年／令和元年 9 月 18 日(水)	八重洲倶楽部

（3）NSP フォーラム２０１９／日本の新しいかたちを考える

プログラム　第一部　基調講演　日本の新しいかたちを考える（藤原直哉理事長）
第二部　特別講演　健康立国の中での持続的な資本主義
（新井和宏さん 株式会社 eumo 代表取締役）
第三部　シェアタイム

https://bit.ly/2knEqcX

LP 制作・当日会場準備・撮影・後片付けにご協力くださった皆さま、ありがとうございました！

（4）時局ならびに日本再生戦略講演会

2015 年より毎月 1 回（7 月フォーラム・10 月総会開催以外)、日本再生の総合戦略について時事の動きと日本再生戦略を照らし合わせながら、講演と検討会を定期的に開催しております。

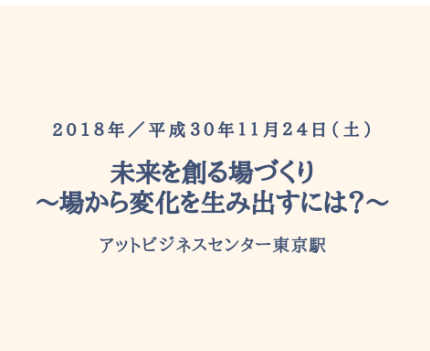
プログラム
　前半／時事解説・時局分析（NSP 理事長 藤原直哉）
　後半／担当理事・監事テーマ選定・企画

日時　毎月 1 回、土曜日　10：30～17：00
　　13：30～18：00（令和元年 5 月開催より時間変更）

会場　JR 東京駅周辺（アットビジネスセンター東京駅・AP 東京八重洲通り）

各回のアーカイブスは、こちらから
https://nipponsaisei.jp/notices/24

第 36 回　2018 年 11 月 24 日（土）
未来を創る場づくり～場から変化を生み出すには？～



https://nipponsaisei.jp/archives/199

午前　2018 年「祓」、2019 年「迅」（藤原直哉理事長）
午後　ゲスト　広石拓司さん 株式会社エンパブリック 代表取締役
　　（NSP 会員限定共有：音声・動画・スライド）
　　担　当　山中茂樹理事

第 37 回　2018 年 12 月 15 日（土）

時代は弱肉強食から共存共栄へ　－人間性尊重経済人が時代の先頭を切り拓くとき－

2018年12月前半

2018年12月後半

午前　難問繰り越しの 2018 年（藤原直哉理事長）https://nipponsaisei.jp/archives/201
午後　人間性尊重経済人連盟交流会 https://nipponsaisei.jp/archives/202

第 38 回　2019 年 1 月 12 日（土）

新春全体交流会・スピンアウト研究会のその後

2019年1月前半

2019年1月後半

午前　1 月時事解説・時局分析（藤原直哉理事長）https://nipponsaisei.jp/archives/210
午後　ゲスト　嶋﨑剛志さん　農業法人合同会社吉岡の里　https://nipponsaisei.jp/archives/211

第 39 回　2019 年 2 月 23 日（土）

新しい公共～官民連携のまちづくり・水戸の場合～

2019年2月前半

2019年2月後半

午前　2 月時事解説・時局分析（藤原直哉理事長）https://nipponsaisei.jp/archives/215
午後　新しい公共～官民連携のまちづくり・水戸の場合～（三上靖彦理事）
https://nipponsaisei.jp/archives/216

第 40 回　2019 年 3 月 23 日（土）

ブロックチェーンによって、今起きている変化、これから起きる変化

2019年3月前半

午前　3 月時事解説・時局分析（藤原直哉理事長）https://nipponsaisei.jp/archives/221
午後　ゲスト　加藤喬大さん 博報堂テーマビジネス局・HAKUHODO Blockchain Initiative
（NSP 会員限定共有：音声・動画）
担　当　鬼澤慎人監事

第 41 回　2019 年 4 月 20 日（土）
人間性尊重と偉大なる共生社会の実現へ

午前　4 月時事解説・時局分析（藤原直哉理事長）https://nipponsaisei.jp/archives/225
午後　人間性尊重経済人連盟交流会 https://nipponsaisei.jp/archives/227

第 42 回　2019 年 5 月 18 日（土）
シニア起業と地産地消・地域活性化

前半　令和元年 5 月時事解説・時局分析（藤原直哉理事長）https://nipponsaisei.jp/archives/229
後半　新しい仲間と過ごす 第二の人生（春日順哉さん／NSP 会員・株式会社結屋）
https://nipponsaisei.jp/archives/230
後半　～人生 100 年時代に向けて～シニア起業と地産地消・地域活性化（阿部重利理事）
https://nipponsaisei.jp/archives/231

第 43 回　2019 年 6 月 15 日（土）
～ 本質から考える ～ 令和時代の生き方

2019年6月前半

前半　令和元年 6 月時事解説・時局分析（藤原直哉理事長）https://nipponsaisei.jp/archives/233
後半　ゲスト　山口揚平さん（事業家・思想家）
（NSP 会員限定共有：音声・動画・スライド）
担　当　山中茂樹理事

第 44 回　2019 年 8 月 24 日（土）
NPO・まちづくり会社ファイナンス～競争的資金獲得指南～

8月前半

8月後半

前半　令和元年 8 月時事解説・時局分析（藤原直哉理事長）https://nipponsaisei.jp/archives/239
後半　NPO・まちづくり会社ファイナンス～競争的資金獲得指南～（三上靖彦理事）
https://nipponsaisei.jp/archives/240

第 45 回　2019 年 9 月 14 日（土）

幸せな生き方を考えてみる

9月前半

9月後半

前半　令和元年 9 月時事解説・時局分析（藤原直哉理事長）https://nipponsaisei.jp/archives/241

後半　幸せな生き方を考えてみる（佐藤茂則理事）

（5）健康立国 次世代への継承／健康立国宣言

目標・健康イノベーション 3 本柱

目標

- 健康イノベーションで国民の健康を大幅に増進させ、今後 10 年間に租税負担率と社会保障負担率を合計した国民負担率を現在の 3 分の 1 にする。
  (平成 27 年の国民負担率は過去最高の 43.4%)
- さらに健康イノベーションを展開することで、健康で持続可能性の高い新時代の日本の国際競争力を高める。

健康イノベーション３ 本柱

1. **ストレスのない職場**

・ 多くの疾病や不調は職場のストレスが生んでいる。
・ 新時代にふさわしい経営革命と働き方革命を通じて、職場のストレスを抜本的に減らす。

2. **病気にならない生活**

・ いかに健康を増進し、病気にならないかの実践的方法をあらゆる分野の知恵やイノベーションを駆使して確立し、国民全体でそれをシェア(共有)し、実践していく。

3. **安心できる社会インフラ**

・ 本格的な健康の増進には安心・安全の衣食住空間が必要であり、それをサポートする新しい社会インフラが必要である。
・ 資源、エネルギー、交通、通信、土地利用、都市計画、産業、教育研究、職場、住宅、生活など、あらゆる社会インフラを健康増進の目的に向けて、斬新なイノベーションを駆使して再構築していく。

健康立国対談

健康立国推進の流れの中、肉体の健康・精神の健康・スピリチュアルの健康実現に向けて行動されていらっしゃる方と NSP 理事長の藤原直哉が対談をしています。

2016 年／平成 28 年 11 月　第 1 回～継続中

・ 第 22 回　2018 年 11 月 9 日
　思いを持つ人が動き出すには　広石拓司さん（株式会社エンパブリック 代表取締役）

・ 第 23 回　2019 年 1 月 16 日
　今の政治で日本がもつのか　村上誠一郎さん（衆議院議員）

・ 第 24 回　2019 年 2 月 6 日
　国際連合の今とこれから　伊勢桃代さん（公益財団法人 日本国際連合協会理事）

・ 第 25 回　2019 年 2 月 27 日
　健康立国論　森田実さん（政治評論家）

・ 第 26 回　2019 年 3 月 27 日
　高齢化社会における日本人の健康　池野文昭さん（スタンフォード大学研究員）

https://bit.ly/2m3gpIz

（6）ウェルネス・ラジオ／おしゃべりを紡ぐヨコ型・シェア型・参加型

私たち NSP 運営チームの雰囲気を感じていただけるよう、理事・監事の皆さんの近況報告や、最近思っていること、気になっていること、ざっくばらんにお話しています。ときには、全国各地の魅力、会員さんとの双方向交流をお届けしていくインターネットラジオです。

2018 年／平成 30 年 3 月　第 1 回～継続中

・ 第 9 回　2018 年 12 月 5 日
おしゃべりを紡ぐ
ヨコ型・シェア型・参加型@羽田空港

11 月より運営チームの仲間になって
くださった阿部重利新理事と事務局の
樋口でざっくばらんな収録を行いました。

（通常は理事会開催後に収録、
時々ゆるりと追加収録あり）

・ 第 10 回　2018 年 12 月 21 日　おしゃべりを紡ぐヨコ型・シェア型・参加型@12 月理事会

・ 第 11 回　2019 年 2 月 21 日　一人が社会のために、社会が一人のために

・ 第 12 回　2019 年 3 月 21 日　前へ前へ生きる

・ 第 13 回　2019 年 4 月 21 日　ヨコにつながり温もりある時代へ

・ 第 14 回　2019 年 5 月 16 日　令和の NSP

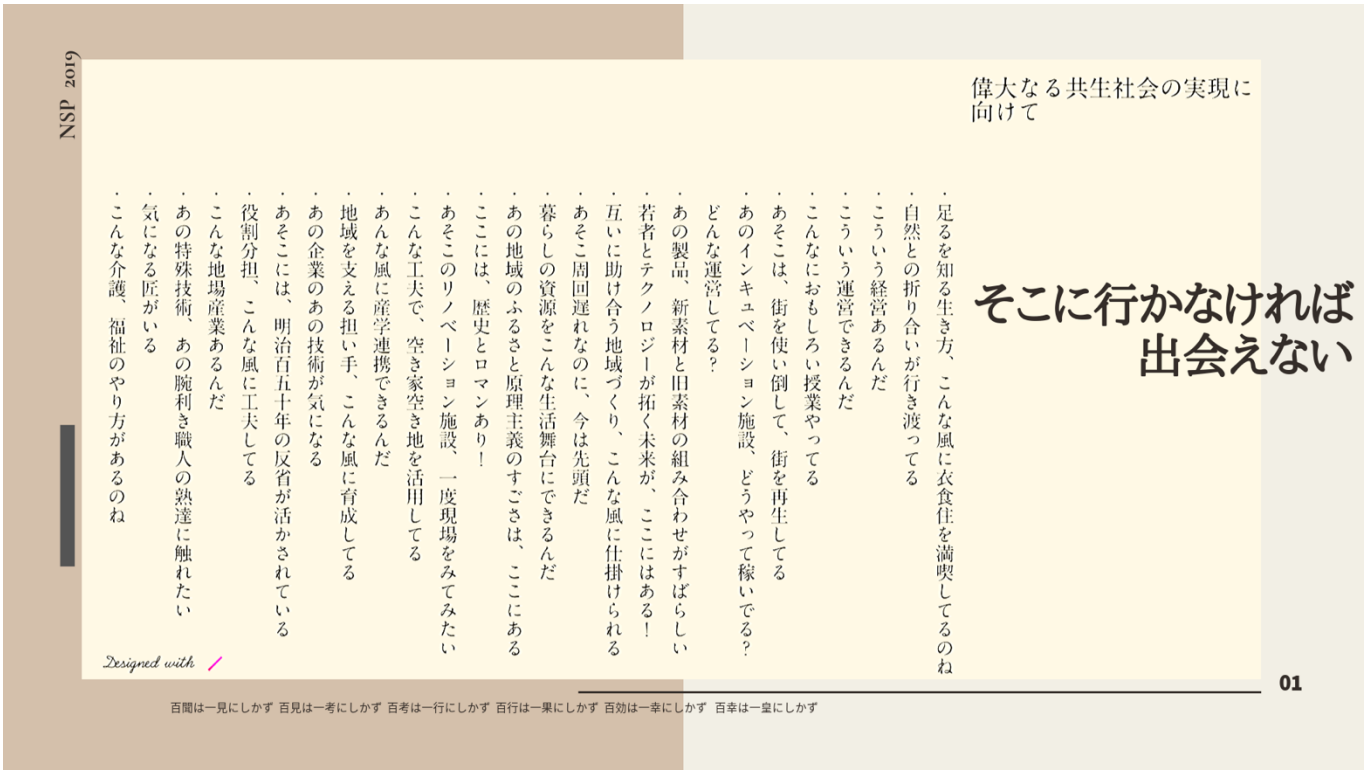
・ 第 15 回　2019 年 8 月 7 日　その土地とその土地で輝く人々の光を観る

・ 第 16 回　2019 年 9 月 18 日　しみじみと感じた夏

https://bit.ly/2ktB5JC

（7）知って・行って・観て・会って（現地集合・解散型）
一人が社会のために、社会が一人のために

これまでの NSP の路線・方向性を継続していきながら、偉大なる共生社会の実現に向けて、視察見学旅行を新しいかたち（現地集合・解散型）で復活、少しずつ始めております。



インターネットの検索結果のようではなく、ご縁を通して現場で体感する幸せ、時には談笑したり、共に考え、団欒の場を通して、未来を創る発想と行動をヨコにつなげ共有していきます。

https://note.mu/nsp_adventures

知行観会@note

2019 年 6 月 8 日（土）　地図と測量の科学館 国土地理院@茨城県つくば市
2019 年 7 月 21 日（日）　吉岡の里@群馬県北群馬郡吉岡町と赤城古民家 IRORI の場@群馬県前橋市
（NSP 公認たまり場 2 号・8 号・10 号合同企画）
2019 年 9 月 20 日（金）　北海道函館市　9 月 21 日（土）北海道亀田郡七飯町
2019 年 9 月 23 日（祝月）壮年就農 GATE@3331 Arts Chiyoda

（8）公認たまり場

背景・目的

NSP が各研究会(*)などを通じ提案してきな各方面での日本再生への道筋は、 ロハス・観光・農業はもちろんのこと、民政自治・新しい地方都市の形態の摸索・ エネルギー源の多様化、若者のヨコ型リーダーシップ、 メンタルヘルスの重視、 組織を抜け出す自由人の増加、中小零細企業の活性化、先端分野への投資の必要性の強調などさまざまな分野で広がっており、民衆レベルから始まるボトムアップの日本再生は、あまり積極的にメディアで報道されなくても、静かにしかし深く日本の隅々にまで浸透しつつあるところであります。NSP が考え、目指している方向へ実際に日本は動いていると言ってよい段階に来ました。

このような状況を踏まえ、NSP では 2015 年(平成 27 年)10 月からの第 13 期より新しい運営方法を採用しました。具体的には、日本再生に向けての戦略的分野の研究が中心であった今までの研究会(*)は終了し、個人・法人正会員・賛助会員が中心となって「たまり場」を立ち上げ、NSP の運営の主体を研究会から「たまり場」に移行しました。

「たまり場」では、ディスカッション・勉強・研究・発表活動・社会貢献活動・ 見学・モノづくりなど、自由に活動を展開されています。これにより、NSP をより広く多くの人が参加できる日本再生国民運動の場に育て上げています。

- 運営　NSP 第 13 期(2015 年 10 月)より
- 公認　立ち上げた「たまり場」を「NSP 公認たまり場」としての認定
- 参加　どのたまり場もご自由にご参加いただけます

(*) 第 7 期より、理事・監事が中心となり、会員の皆さんとともに活動していました。
・地域のひな型研究会・都市再生研究会・組織のリーダーシップ研究会 ・中小零細企業研究会
・スピンアウト研究会・LOHAS ジャパン研究会・NSP 投資銀行研究会

第 16 期公認たまり場

民政自治・地方創生の時代に、各地域や同じ想いをもった同士の方達で立ち上げられた 8 つの公認たまり場が、第 16 期も活動を継続しています。

	名称	活動拠点	代表者
第 2 号	多摩黒川農園たまり場	多摩黒川	大久保 禎
第 3 号	SVC ソーホーバレーコモンズ	東京近郊	依田 孝吉
第 4 号	名古屋地域再生研究会	愛知	久志 公洋
第 5 号	たまり場福岡 横の繋がり	福岡	高橋 英治
第 6 号	中小企業の経営資源とハピネス研究会	主に関東	阿部 重利
第 8 号	鹽竈の光を観る旅	宮城(鹽竈市) ・栃木（那珂川町）	樋口 敬子
第 9 号	ソーシャルデザイン究会	主に東京・茨城（笠間)・岡山	山中 茂樹
第 10 号	壮年就農 GATE	群馬	嶋﨑 剛志

2018 公認たまり場アワード

各公認たまり場の活動状況や
活動実績（開催頻度・活動内容など）を
もとに、理事会にて審査決定しました。

（第 16 期総会イベントにて発表･表彰）

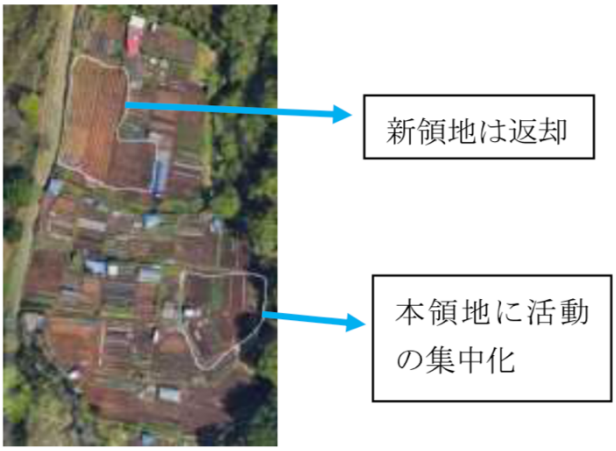
第２号　多摩黒川農園たまり場

活動拠点／多摩黒川　代表者／大久保禎　https://nipponsaisei.jp/tamariba/2

スピンアウト研究会から続けている多摩黒川農園も、早いもので多摩・黒川の地に農園を借りてから８年目に突入しています。今期のテーマは３つです。

1. 身の丈に合った活動

嶋崎さんの活動はほぼ毎週活動していたので、
抜けた影響は大きかった。
そのため新しく借りた畑（新領地）を返却し、
元からの畑（本領地）に活動を集中化させました。
その結果、新領地の管理が昨年より質の高いものに
なりました。



２．雑草対策

月に１度の活動ですが、６，７，８月はもう１回草刈新選組を募集し、月２回の活動としました。
約２週間毎の草刈りで、朝一は草ぼうぼうですが、
帰りにはこんな感じで雑草コントロールができています。

3．新しい仲間と作物

今や黒川農園のマドンナの「りなっち」。
おかげで多くのゲストに来ていただき、
会員になる方も出てきました。

1 年で、廣田さん、菊池さん、大嶋さん、
浅井さん、ていちゃん、うずめちゃんが
連絡網に登録しました。
他にも多くのゲストが来られました。

新しい野菜も栗ちゃんが積極的にチャレンジして定番野菜だけでない楽しみが増えています。

やっぱり一番楽しいのはとれた野菜を使ったランチです。皆さん参加をお待ちしてま～す。

第 3 号　SVC（Soho Valley Commons）ソーホーバレーコモンズ

活動拠点／東京近郊　代表者／依田孝吉

1.　活動目的と活動概要

「ソーホーバレーコモンズ」は、地元を愛する人々の共感から生まれた街づくり構想です。
時が築き上げてきた大切な歴史を受け継ぎながら、さらにもっと快適な「私たちの街」を創り出そう、自分たちの街を、自分たちの手で…。
こうした心が集まりふくらんだつぼみがＳＶＣのコモンズ構想です。

・　たまり場　定例会

1999 年 10 月に第 1 回定例会を藤原さん主宰で、藤原さんの事務所があった渋谷のカコービルで開催しました。その後、藤原事務所が小田原に移行したのを機に私（依田）主宰で、五反田のＳＴビルで開催しています。

：定例会の開催日時は主に毎月第三水曜日 18：00～20：00
：参加者によるお話、情報交換。
：新規事業コンサルタントの高島健一さんによる最新ビジネス、最新オープン店のお話。
：経済アナリストの藤原直哉さんによる政治、経済など、最新時局のお話。
：懇親会は 20：15～21：45

・ **「やまとごころ」勉強会**
日本人の心のふるさとである神社を参拝しています。

2. 活動実績

定例会 18：００～20：00
2018 年 10 月 17 日（水）・11 月 21 日（水）
2018 年 12 月 14 日（金）18：00～21：00　定例会（望年会）
2019 年 1 月 16 日（水）
2019 年 2 月 8 日（金）～2 月 10 日（日）やまとごころ勉強会（福岡）
2019 年 2 月 20 日（水）・3 月 20 日（水）・4 月 17 日（水）・5 月 15 日（水）
2019 年 5 月 25 日（土）～5 月 26 日（日）やまとごころ勉強会（伊勢）
2019 年 6 月 19 日（水）・ 7 月 17 日（水）・8 月 21 日（水）・9 月 18 日（水）

（1）定例会
議事録は開催日翌日に Facebook ページにアップしています。https://www.facebook.com/nsp.svc

（2）「やまとごころ」勉強会
2019 年 1 月 13 日（日曜日）13：00　初詣＆新年会
乃木神社、東郷神社、金王八幡宮（併設：玉造稲荷神社）参拝

2019 年 2 月 8 日（金曜日）～2 月 10 日（日曜日）福岡
2 月 8 日大宰府天満宮、香椎宮　参拝
たまり場福岡横の繋がり　懇親会にＳＶＣから 6 人参加

2 月 9 日たまり場福岡横の繋がり主宰「藤原直哉先生と巡る宗像大社世界遺産ツアー」
にＳＶＣから 6 人参加
宗像大社　辺津宮　市杵島姫神　参拝
参拝後、中津宮の祀られている大島に船で移動

2 月 10 日宗像大社　中津宮　湍津姫神　参拝

宗像大社　沖津宮　遥拝所より、沖津宮　田心姫神　遥拝

沖津宮のある沖ノ島は九州と朝鮮半島とを結ぶ玄界灘のほぼ中央にあり、現在は世界遺産に登録されていますので、一般の人は入島出来ません。

神職が一人だけ交代で入島して、お祈りを捧げています。

この島からは、鏡、勾玉、金製の指輪など、約十万点にのぼる貴重な宝物が見つかり、そのうち八万点が国宝に指定されています。

宗像大社は、またのお名前を「道主貴（みちぬしのむち）」と申し上げます。「貴（むち）」とは最も高貴な神に贈られる尊称で、「日本書紀」には宗像三女神が「道主貴（みちぬしのむち）」、すなわち国民のあらゆる道をお導きになる最も尊い神として崇敬を受けたことが記されています。

2019 年 5 月 25 日（土曜日）～5 月 26 日（日曜日）伊勢

詳細：
NSP サイトたまり場ページ掲載

3.　今後の活動計画

定例会の開催日時は主に毎月第三水曜日 18：00～20：00 です。

「やまとごころ」勉強会も不定期ですが年に 3 回程開催します。

来期は厳島神社を参拝予定です。　https://nipponsaisei.jp/tamariba/3

たまり場３号

第 4 号　名古屋地域再生研究会

活動拠点／愛知　代表者／久志公洋　https://nipponsaisei.jp/tamariba/4

たまり場４号

1.　名古屋のたまり場開催　月一回～隔月

名古屋駅周辺の店でお酒を飲みながら、いろいろ世の中で起こっていること、最近の時事、メンバーで取り組んでいる農業のことなどを肴にわいわいとやっております。

最近は偶数月の第 4 木曜日 19:00～が定例化しております。中部圏の方ご興味ある方はご参加下さい。

2. 名古屋農楽倶楽部

2011 年よりたまり場有志で始めた、安心安全な食べ物を自分たちで作ろうという農業の取り組み。愛知県犬山市羽黒地区に借りた田んぼ約 2 反と愛知県丹羽郡扶桑町のダーチャのまわりにある畑でお米といろいろな野菜を作っています。

田んぼや畑の作業を子どもたちにも体験してもらおうと言う趣旨のもと、数年前から、田植え体験、草取り体験、稲刈り体験、収穫祭などのイベントを企画して、たくさんの方に体験してもらっています。また最近ではダーチャを利用して味噌・醤油味噌造りワークショップ、今年は中止になりましたが夏休みこども冒険教室も開催しています。

6/9　田植え体験

10/21　稲刈り体験

11/11　収穫際では足踏み脱穀機で脱穀体験

3. 個の花倶楽部

藤原直哉先生が名古屋で藤原塾を開催されている 3 月 5 月 7 月 9 月 11 月の第 4 木曜日午前中、名古屋駅西のコミュニティーセンターの会議室で勉強会をしていただいております。

少人数制ですが、刻々と動く世の中の動き、日本内外の情勢などいろいろな面から勉強させていただいております。勉強会の最後は、近くで人気のすし屋のランチをとって会食しながらわいわいと情報交換をおこないます。
ご興味のある方はご案内いたしますのでご連絡下さい。

名古屋駅西　牧野コミセンでの個の花倶楽部

3/24 海老澤糀店の海老澤講師を招いて味噌・醤油造り WS

4. 勉強会・研修旅行

特に日程は決めておりませんが、興味深い事例があれば不定期で勉強会や研修旅行を企画しております。今年の４月には有志を募り群馬県の嶋崎剛志さんがやっておられるバクチャーパーク・吉岡の里にも研修・見学旅行に行ってきました。

4/28　研修旅行　群馬吉岡の里にてバクチャーの勉強

5. 今後の活動予定

基本的に上記内容を同じペースで第 7 期も継続していきます。近々の名古屋農楽倶楽部のイベントでは、10 月 20 日(日)稲刈り体験・11 月 10 日(日)収穫祭があります。

活動やイベントの予定は名古屋農楽倶楽部関係は WEB ページと FACEBOOK で公開しております。 またたまり場情報は FACEBOOK とメールで配信させていただいておりますので、ご興味ある方は、事務局水野 landscape0303@gmail.com までメールいただくか FACEBOOK で代表久志公洋もしくは水野秀彦にメッセージを下さい。

第５号　たまり場福岡 横の繋がり

活動拠点／福岡　代表者／高橋英治　　https://nipponsaisei.jp/tamariba/5

1. 活動目的と活動概要

（１） ロハスな活動をしている個人・企業・組織への訪問、紹介、連携を通し地域の活性化と連帯を図る
（２） 御用達経済の促進
（３） 横型リーダーシップの研究・実践をし、地域の横のネットワークを築く
（４） 福岡藤原塾のお世話

2. 活動内容と活動履歴

平成３０年１０月１２日　たまり場福岡月例会開催
平成３０年１１月　２日　福岡藤原塾のお世話
平成３０年１２月　８日　たまり場福岡望年会
平成３１年１月１１日　　たまり場福岡新年会

平成３１年２月　８日　　福岡藤原塾のお世話
平成３１年２月　９日　　「藤原先生と巡る宗像大社など世界遺産ツアーを開催（１６名参加）東京から公認たまり場第３号ＳＶＣソーホーバレーコモンズ等のメンバー６名参加、たまり場同志の交流も実施。
藤原先生の解説や講演会、地元観光ガイドの解説などを実施。

平成３１年３月　８日　　たまり場福岡月例会
平成３１年４月１１日　　たまり場福岡月例会
令和　１年５月１１日　　福岡藤原塾のお世話
令和　１年６月１４日　　たまり場福岡月例会
令和　１年７月１２日　　たまり場福岡月例会
令和　１年７月１６日　　「権藤成卿研究会」（坪内隆彦世話人）より書籍「権藤成卿の君民共治論」の贈呈を受ける。昨年４月１４日に久留米市で開催された「権藤成卿生誕１５０年祭」に参加とお手伝いをした事への感謝として贈呈されたもの。巻末の「おわりに」の項に藤原先生と福岡藤原塾関係者への御礼の文章を入れて頂いた。
令和　１年８月　３日　　福岡藤原塾のお世話
令和　１年９月１３日　　たまり場福岡月例会

3.　今後の予定

令和　１年１０月６日　※たまり場合同企画
地域と中小企業を元気にするために「ヨコ」に繋がろう！
公認たまり場第６号中小企業の経営資源とハピネス研究会との合同企画でたまり場同志の交流会と懇親会を福岡にて開催予定
令和　１年１０月１１日　　たまり場福岡月例会

令和　１年１１月　９日　　福岡藤原塾のお世話
令和　１年１２月１３日　　たまり場福岡望年会

第６号　中小企業の経営資源とハピネス研究会

活動拠点／主に関東　代表者／阿部重利　　https://nipponsaisei.jp/tamariba/6

1. 活動目的と概要

我々は、代表的な経営資源「ヒト・モノ・カネ・情報」等に対し、中小企業がどんな課題に対峙しているか？・・その克服策・解決策を、座学や取材を通して探っています。
日本の経済は、事業者数の 99%、雇用の約 7 割を担う「中小企業」の発展なくしては成り立ちません！

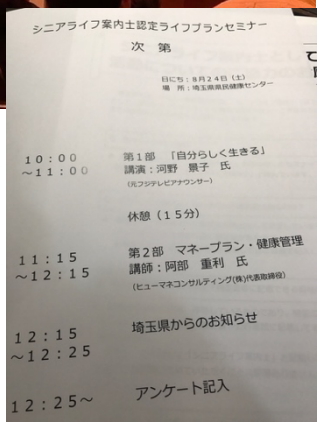
つきましては、「シニアライフ起業」についても！研究を進めて参ります！
「健康経営」についても！研究を進めて参ります！
他のたまり場様とも交流を深めていきたいと思います！

我々は藤原理事長の提言から生まれた、従前の「中小零細企業研究会」の目的を引き継ぎ、中小企業の「経営資源」について研究をすすめ、中小企業の発展ひいては日本再生の一端を担っていきたいと思います。
さらには、「シニアライフ起業」や「健康経営」の研究を通じてヨコの繋がりも大切にし、ワイガヤと情報交換・発信に努めておりますのでよろしくお願い申し上げます。

2. 活動内容と今後の活動計画

なかなか皆様に広くご案内ができるような活動が出来ず、申し訳ありませんでしたが、今後に関しては、上記活動目的に則り、日本再生の一端を担うべく活動して参る所存です。

そういう意味では、（皆様には広くご案内出来ず恐縮でしたが）上記目的に沿って調査的に動いたセミナーとして、8 月 24 日に埼玉県とのコラボで「シニアライフにおける”健康管理”と”マネープラン”」に関する講演を行いました。



ここでは、シニアライフを生き生きと過ごすためにも、また（このままでは１００万社の中小企業が廃業に追い込まれる可能性があるという）大廃業時代に備えるためにも起業や健康経営の必要性、ひいては、我々たまり場の今後の大きな活動フィールド（情報発信や研究の場）であると確信しました。

今後はこれらの活動（情報発信、研究の場）を企画し、楽しい【場】にして参る所存ゆえ、何卒、ご支援、ご協力賜りますようよろしくお願い致します。

第８号　鹽竈の光を観る旅

活動拠点／宮城（鹽竈市）・栃木（那珂川町）　代表者／樋口敬子

https://nipponsaisei.jp/tamariba/8

1.　活動目的と概要

東日本大震災・福島原発事故、この大災害を風化させないため、未来を自分たちで創るため、 地震が起きた津波が押し寄せた現場のこれまでと今、これからの状況を自分たちの足で歩き、目で観て、地元の方々の生の声を聴いて、復興の息吹を心から体感する旅を続けています。

自然との共生、歴史との共生、文化・伝統との共生を大切に、鹽竈（しおがま）やそれぞれの地域の魅力が引き立つ復興を進めている現場にて地元の方々と交流し、 たまり場メンバー同士語り合い、各々が覚悟を持って地域に戻り、「いつか、そ のうち」ではなく、「今から」できることとして、日々の暮らしの中で活かすさまざまな気づきや勇気を得る、共有する機会を創っています。

2.　活動内容と活動履歴

2011 年（平成 23 年）9 月より、自分たちらしく東日本大震災と丁寧に向き合うため、年に一度、春夏秋冬いずれかの宮城の季節感を肌で感じる 1 泊 2 日の旅を続けています。

第 8 回　2018 年 11 月 3 日（土）～4 日（日）鹽竈→気仙沼→鹽竈

海の町であり、内陸部には大小の山や森もある宮城県気仙沼市にご縁をいただいて、地元の方との交流も実現することができました。なかなか報道されない気仙沼市の東日本大震災以前と当時、そして現在について、実際に現場で何が起こっているのか、自分たちの目で観て、聴いて、感じることで、その土地の衣食住について学び、これからの暮らし方や生き方について、生活の原点を見つめ直す機会となりました。

・網元の宿磯村の女将さん、森のコテージオーナーの伊藤さん

・リアスアーク美術館（東日本大震災の記録と津波の災害史見学）、巨大防潮堤@朝日町など

2019 年 7 月 20 日（土）～21 日（日）地域に根ざした里山活性化を観る旅@那珂川町第

今夏も仲間同士での語らいの時間を大切に、「日本で最も美しい村」の舞台の 1 つ、栃木県那珂川町の衣食住を満喫し、英気を養ってきました。

翌日 21 日（日）は、栃木県から群馬県に移動し、合同たまり場企画に合流しました。

3. 今後の予定

第 9 回　2019 年 11 月 2 日（土）～3 日（日）鹽竈→石巻→女川→鹽竈

2011 年／平成 23 年 9 月、2012 年／平成 24 年 4 月、2013 年／平成 25 年 2 月、 2014 年／平成 26 年 11 月、2015 年／平成 27 年 9 月、2016 年／平成 28 年 7 月、 2017 年／平成 29 年 7 月、2018 年／平成 30 年 11 月の旅の記録と記憶とともに、今年は秋の宮城・女川を仲間とともに肌で感じてきます。

第 9 号　ソーシャルデザイン研究会

活動拠点／主に東京・茨城（笠間）・岡山　代表者／山中茂樹

https://nipponsaisei.jp/tamariba/9

ソーシャルデザイン研究会は、自分たちが楽しく・ワクワクする活動を通して、持続可能な社会の実現を目指し地域・日本そして世界が抱える社会的課題の解決につながることを実践し共有するたまり場です。一人一人の想いと行動が、社会を変革する可能性を秘めていることを実感でき、そして実践できるコミュニティを目指したいと考えています。来期は茨城県笠間市の農園と場を活用してのたまり場開催、そして全国各地への視察や地方(岡山)での拠点作りも引き続きやっていきます。

1. 活動概要

- 最新の世界の IT 技術動向(ブロックチェーン・IOT 等)の勉強会・実践会
- 岡山市・備前市日生町・岡山県北・香川坂出の地域のたまり場支援活動
- 全国各地の地域の持続可能な社会につながるさまざまな取り組みの視察及び見学会
- Zoom を利用してのオンラインたまり場開催

2. 今後の活動予定

- 農業者や漁業者と連携し IOT の実験や勉強会
- 茨城県笠間市の農園を活用してのたまり場開催
- Zoom を活用したオンラインたまり場

第 10 号　壮年就農 GATE

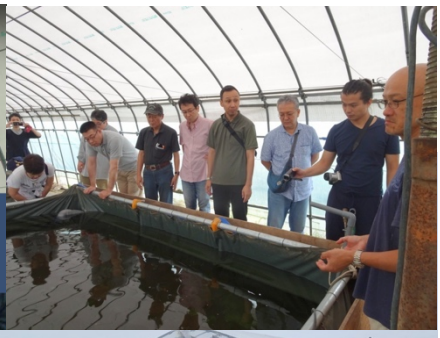
活動拠点／群馬　代表者／嶋﨑剛志　https://nipponsaisei.jp/tamariba/10

1. 経緯

みなさん、こんにちは！公認たまり場第 10 号「壮年就農ＧＡＴＥ」の嶋﨑です。
ついこないだまで、公認たまり場第２号多摩黒川農園の代表をしておりましたが、２０１８年５月に脱サラ・就農・起業し、現在は農業法人合同会社吉岡の里の代表を務めております！
代表とは名ばかりで、農作業はもとより、営業、広報、経理、総務など全業務を担当し、超多忙な生活をしております。それゆえ、多摩黒川農園の代表は「くぼじー」こと大久保さんにお願いしたのですが、性懲りもなく、また、たまり場を立ち上げてしまいした。
やはり、動く（行動する、人生の流れを変えてみる）と、また別の課題に直面し、解決に向けて何かを始めざるを得ないということなのでしょうか。
想いについては、次項に譲りますが、農業をやってみて肌身で感じたことを藤原先生に相談したところ、「それなら、たまり場を作ってやるのがよい」とおっしゃっていただき、公認たまり場第 10 号「壮年就農ＧＡＴＥ」が生れました！

2. 想い

貧困は極端な富の偏在によるように、問題には必ず表裏があります。従い、ある問題を解決するには、その問題だけを解決することは不可能で、表裏となっている二つの問題を串刺し的に解決することでしか解決できません。農業にまつわる問題も然り、「東京一極集中／地方衰退」、「耕作放棄地激増・離農／サラリーマン疲弊・メンタル不調者激増」は、表裏の問題です。就農してみて分かりましたが、今の日本は、「嫌々やっている農家と農業したいのにできないサラリーマン」という構図です。これでは、「双方に」良い考え、改善、イノベーションが生れるわけがありません。発展するはずがありません。
この表裏の問題を串刺し的に解決せねば！串刺し的に解決できる！というのが、壮年就農ＧＡＴＥの想いです。
その想いを別の言葉でいえば、「人生の消化試合はあり得ない！」です。
プロ野球なら来シーズンがあるでしょうけど、人生は一度きり、来世まで待ちますか？
これまで会社などで積んだ経験・人脈は素晴らしい財産です。「老後」、「定年後」という言葉など、つい最近の言葉です。もともと日本には、あるいは人間には、老後も定年後もありません。とにかく、持っているものをすべて使って、行けるところまで行ってみませんか！
それが農業でなくとも全然ＯＫです！一度きりの人生をめいっぱい光り輝かせましょう！



嶋﨑さん

公認たまり場合同企画@群馬
https://note.mu/nsp_adventures/n/n2f44cea9dbda

3. 予定

２０１９／０９／２３：壮年就農ＧＡＴＥ説明会１（主催：ＮＳＰ）
２０１９／１１／　　：見学会１
２０１９／１１／　　：壮年就農ＧＡＴＥ説明会２（主催・場所未定）
２０２０／０１／　　：見学会２
２０２０／０１／１１：壮年就農ＧＡＴＥ説明会３（主催：ＮＳＰ）
２０２０／０３／　　：見学会３
２０２０／０３／　　：壮年就農ＧＡＴＥ説明会４（主催・場所未定）
２０２０／０５／　　：見学会４

（9）ソーシャルメディア部

全国の会員さんとのヨコのつながりを大切にするとともに、一般の方々からも私たちの活動に興味･関心をお持ちいただけるよう、NSP ではさまざまなソー シャルメディアをツールとして活用しています。 定期的な情報公開・活動記録・交流の場として、発信し続けています。
会員の皆さまからいただきました年会費・ご寄附を原資にアーカイブづくりをしています。
ありがとうございます。

1. NSP ホームページ

2. 健康立国 特設ページ

健康立国

https://peraichi.com/landing_pages/view/nipponsaisei

3. YouTube チャンネル

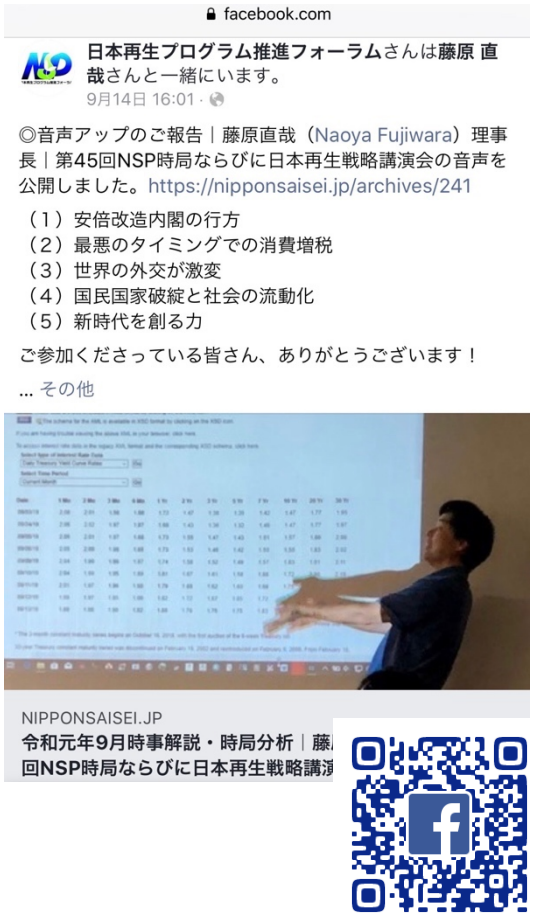
YouTube

4. 知って・行って・観て・会って 特設ページ

知っ行っ観て会って

https://nsp-adventures.studio.design/

5. Facebook ページ



https://www.facebook.com/nipponsaisei/

（１０）参考　人間性尊重経済人連盟

私たち人間性尊重経済人連盟は、健康立国推進活動の一環として、2017 年（平成 29 年)12 月 18 日に設立いたしました。

心身ともに健康な経済人の再生と、忠恕あふれる経済社会を実現しましょう!との呼びかけに、たくさんの方よりご賛同いただいております。
賛同者総数４１４名を超えました。(2019 年／令和元年 9 月)

連盟の当面の活動は啓蒙時期として、
「私は人間性を尊重して経済活動を行うことを誓います」
という宣言に賛同して署名してくださる方、連盟を知って
いただくメッセージを一緒に広めてくださる仲間を募っています。

http://blog.nipponsaisei.jp/respect

5.　その他　NSP へようこそ！ヨコのつながりでの活動にご一緒してみませんか。

皆さんの周りに、私たちの活動にご賛同頂ける方はいらっしゃいませんか?
私たち NSP では、ご賛同いただける会員さんを募集しています。

- わたしの手とみんなの手で、日本を元気にしたいな
- たまり場に参加して(つくって)、みんなとワイガヤしてみたいな
- 一歩踏み出して、未来志向で行動してみたいな
- ヨコ型 シェア型 参加型の仲間と交流してみたいな　　などなど

想いを共有してみたい方、熱い想いをお持ちの方、大歓迎です！

会員種別

	個人賛助会員	個人正会員	法人賛助会員	法人正会員
議決権	－	○	－	○
イベント優待人数	会員ご本人のみ	会員ご本人のみ	2 名様まで	2 名様まで
年会費	5,000 円以上	10,000 円以上	7,000 円以上	20,000 円以上

*入会費はございません。
*NSP の事業年度は、１０月１日～９月３０日です。

会員特典

- 会員限定メーリングリストを定期的にお届けいたします。（役員・事務局からのお知らせ）
- 勉強会、研修、イベント参加費のご優待をいたします。
- 勉強会、イベント等のアーカイブ動画・音声、会員限定公開を提供いたします。
- 毎年度の活動記録冊子をお届けいたします。

会員入会・更新申込

〇申込書記入の場合

同封の申込書をご記入いただき、NSP 事務局まで FAX(03-6866-8614）もしくは、E-mail(staff@nipponsaisei.jp)添付ファイル(pdf)にてお送りください。

〇会員申込フォーム入力の場合

- NSP ホームページ内の【会員申し込みフォーム】または【会員更新フォーム】をご利用ください。
- 事務局より自動返信メールをお届けいたします。あらかじめ【@nipponsaisei.jp】 ドメインの E-mail が受信できるように、各種設定をお願いいたします。
  ＊Yahoo !メール、Gmail など Web メールをご利用の場合、フィルタ機能によって、迷惑フォルダに分類される場合ございますのでお気をつけください。

年会費お支払い方法

〇郵便振替

振替口座　ゆうちょ ATM・ご自身のゆうちょ銀行口座からの送金
口座記号番号　00280-3-70910
口座名　　特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

他金融機関からの振込用口座

金融機関ゆうちょ銀行
支店名　〇二九店(ｾﾞ ﾛﾆｲｷｭｳﾃﾝ)
　　＊ATM ご利用の際は、支店名「セ」をお選びください。
種　別　当座 口座番号　0070910
口座名　特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

〇銀行振込

金融機関　三井住友銀行
支店名　　日比谷支店
種別　　普通
口座番号　8109166
口座名　　特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム
　　（トクテイヒエイリカツドウホウジン ニホンサイセイプログラムスイシンフォーラム）
＊郵便・銀行振込手数料は、ご負担いただきますようお願いいたします。

＊新規ご入会の方　年会費入金確認が完了次第、事務局よりご連絡いたします。

＊会員更新の方　　年会費銀行お振り込みもしくは事務局への直接(各イベント会場にて)
お支払いをもって、【更新】の完了となります。

＊入金確認が必要な方、領収書が必要な方は、事務局までご連絡ください。

こ寄附のお願い
日本再生プログラム進フォーラムをご支援ください。
皆様一人ひとりのお力添えが必要です！

私たち日本再生プログラム推進フォーラム(NSP)では、定期開催している時局ならびに日本再生戦略講演会、視察、インタビュー、事務局の運営、公認たまり場の活動等々、様々な活動を行っています。 活動の原資は、会員の皆さまの会費や寄附金によって賄っています。

当団体は皆さまからのご支援なしでは活動を続けることができません。
ご寄附いただきました個人・法人様には、寄附金受領証明書を毎年 12 月末に事務局より郵送いたします。

日本再生プログラム推進フォーラムへのご寄附は、
認定 NPO 法人への寄附となり、税制優遇(寄附控除)が受けられます。

※個人が認定・仮認定 NPO 法人に寄附した場合
個人が認定・仮認定 NPO 法人(以下、認定 NPO 法人等)に対し、その認定 NPO 法人等の行う特定非営利活動に係る事業に関連する寄附をした場合には、 所得控除又は税額控除のいずれかを選択適用できます。
また、都道府県又は市区町村が条例で指定した認定 NPO 法人等に個人が寄附した場合、個人住民税(地方税)の計算において、寄附金税額控除が適用されます。

- **具体的には?**
  個人が認定 NPO 法人等に寄附をすると、所得税(国税)の計算において、 寄附金控除(所得控除)又は税額控除のいずれかを選択して確定申告を行うことにより、所得税の控除を受けることができます。

- **所得控除**
  その年中に支出した寄附金の額の合計額から 2 千円を控除した金額を、 その年分の総所得金額から控除できます。

※法人が認定・仮認定 NPO 法人に寄附した場合

法人が認定 NPO 法人等に対し、その認定 NPO 法人等の行う特定非営利活動に係る事業に関連する寄附をした場合は、 一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特定公益増進法人に対する寄附金の額と合わせて、 特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

なお、寄附金の額の合計額が特別損金算入限度額を超える場合には、その超える部分の金額は一般寄附金の額と合わせて、 一般寄附金の損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

・ **具体的には?**

特別損金算入限度額の適用について 法人が認定 NPO 法人等に寄附をすると、 一般の NPO 法人に寄附した場合の一般損金算入限度額とは別に、別枠の特別損金算入限度額が設けてられており、その範囲内であれば損金の額に算入することが認められます。

(内閣府 NPO ホームページより)

〇郵便振替

振替口座　ゆうちょ ATM・ご自身のゆうちょ銀行口座からの送金
口座記号番号　00280-3-70910
口座名　　特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

他金融機関からの振込用口座

金融機関ゆうちょ銀行
支店名　〇二九店(ｾﾞ ﾛﾆｲｷｭｳﾃﾝ)
　　＊ATM ご利用の際は、支店名「セ」をお選びください。
種　別　当座 口座番号　0070910
口座名　特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

〇銀行振込

金融機関　三井住友銀行
支店名　　日比谷支店
種別　　普通
口座番号　8109166
口座名　　特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム
　　(トクテイヒエイリカツドウホウジン ニホンサイセイプログラムスイシンフォーラム)

＊郵便・銀行振込手数料は、ご負担いただきますようお願いいたします。
＊ご寄附いただきました個人・法人様には、寄附金受領証明書を毎年 12 月末に事務局より郵送いたします。

私たち認定 NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム(NSP)の活動は、 皆さまのご賛同・ご寄附に支えられています。皆さまのあたたかいご支援・ご協力に、関係者一同心より感謝申し上げます。

この活動冊子は、
ＮＳＰ会員の皆さま、ご寄附くださった皆さまのおかげで、
つくることができました。ありがとうございます。

発行日　２０１９年／令和元年９月
発　行　認定 NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム（NSP）

https://nipponsaisei.jp/
E-mail　staff@nipponsaisei.jp
TEL 080-2133-7564　FAX 03-6866-8614
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町２丁目１３番 12 号　ASUKA ビル２階